

えがよ

第35号

2019年
8月15日発行

Kamiamakusa-city assembly report EGAO



龍ヶ岳町の養殖場で働く皆さん、活きのいい鯛を育てています。

目次

- P1 5月臨時会・副議長あいさつ
- P2-6 6月定例会
- P7-12 一般質問
- P13 電子会議システム導入
- P14 新広報委員紹介
- P15 笑顔がキラリ・まちを歩いて

がんばろう！熊本！

「平成28年熊本地震」

私たちは忘れない！！





★上天草市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

介護保険法施行令および介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令の施行による介護保険法施行令の一部改正に伴い、低所得者の介護保険料軽減強化を図るため、所得の段階別に、減額賦課に係る減額幅の基準が定められたため、関係規定を改正するもの。

副議長に西本輝幸議員、各常任委員などを選任

臨時会では副議長に西本輝幸議員を選任。また、常任委員会の構成も変更になりました。

なお、今議会から予算決算常任委員会が設置されました。

議会運営委員会

委員長	島田	光久
副委員長	高橋	健
委員	嶋元	秀司
	新宅	靖司
	田中	辰夫
	宮下	昌子
	西本	輝幸

経済建設常任委員会

委員長	嶋元	秀司
副委員長	高橋	健
委員	何川	誠
	津留	和子
	西本	輝幸

総務常任委員会

委員長	新宅	靖司
副委員長	島田	光久
委員	何川	雅彦
	小西	涼司
	田中	万里

文教厚生常任委員会

委員長	田中	辰夫
副委員長	宮下	昌子
委員	木下	文宣
	北垣	潮
	桑原	千知

予算決算常任委員会

委員長	田中	万里
副委員長	小西	涼司
委員	その他、議長を除く全員	



▲所信を述べる西本副議長

副議長 西本 輝幸

皆さま方の変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。

存です。

これからも、市民の皆さま方のご指導をいただきながら、議長をはじめ、他の議員と共に、議会が公正、円滑に運営されるよう、誠心誠意努力をいたす所存です。

その責任の重大さを考えた時に、身の引き締まる思いです。

議員各位のご推挙によりまして、本市議会の副議長に選ばれましたことは、この上ない栄光に感じているところです。同時に、

副議長就任のあいさつ

6月定例会

6月定例会は、6月6日(木)から6月26日(水)まで開催され、条例4件、予算2件、諮問1件、同意4件、請願1件、陳情1件、議員提出議案2件、その他5件を審議し、陳情1件を除くすべての議案を原案のとおり可決、同意しました。

条例制定・改正(全なもの)



★上天草市特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部を改正する法律の施行による国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正を踏まえ、関係規定を整備するもの。

★上天草市下水道条例の一部を改正する条例の制定について



下水道使用料の増収を図るため、並びに社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の施行による消費税法及び地方税法の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの。

補正予算(全なもの)



プレミアム付商品券事業

5,209万円

住民税が非課税である者、または3歳未満の子が属する世帯を対象に、消費税・地方消費税引上げが当該世帯の消費に与える影響を緩和するもの。

阿村出張所管理事務事業

363万円

施設や設備の老朽化が著しく、出張所利用者および職員の安全確保の面において、大きな不安が生じていることから、旧阿村中学校の校舎を改修し、阿村出張所として利活用するもの。

商工振興対策事業

465万円

二号橋商店街に地域おこし協力隊を派遣することで、空き店舗の活用やイベントの開催、新規店舗の開業など、自立した商店街の活性化を図る。

コミュニティ助成事業助成金

250万円

地域のコミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成を行うことで、地域のコミュニティ活動の充実、地域社会の健全な発展に寄与するもの。(大道葛崎地区公民館)

議案質疑

6月14日の議案質疑の一部を要約して掲載します。

上天草市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

問 基本料金で、166.5円、1立方メートルごとに25.9円の引き上げになるが、その積算の根拠は。

答 下水道施設の老朽化がすすんでいるため、今後修繕費と維持管理費の増加が見込まれるなど、厳しい経営環境にあるところです。過去5年間の使用料収入と事業運営状況をもとに、今後4年間の収支状況を見込み算定し、料金改定案を作成しました。

問 下水道使用料の値上げにより、どれくらいの増収があるのか。

答 料金改定を行う際の試算では、年間で650万円程度の増収を見込んでいます。

令和元年度(平成31年度)上天草市一般会計補正予算(第1号)

問 地域おこし協力隊補助金232万4千円について、二号橋商店街の活性化のために、協力隊員2名を導入予定であるが、

2名の根拠と二号橋商店街の活性化に特化したものか。

答 商店街に賑わいが戻るような魅力ある事業を創出するためには、その核となる人材として、複数の協力隊の任用が必要と判断したところです。基本的には、二号橋商店街に特化したものと考えております。

問 プレミアム商品券事業事務委託料450万円について、

消費税引き上げに伴い、低所得者、子育て世代に特化した支援事業であるが、対象者に対しての周知はどのようにされるのか。

答 住民税非課税者には、商品券の購入希望申請書および制度の概要を記載したチラシを、3歳未満児の子育て世帯につきましては、商品券の購入引換券および当該チラシを直接送付することとしています。

問

中学校英語検定チャレンジ事業補助金41万6千円について、前年度が202名に対して受験者数43.9%と、3年生の受験者率が低い理由は。

答 本市中学生の英語力の水準および英語学習に対する意識、意欲の向上を図るため中学3年生が受験する英語外部検定試験受験料の3分の2を助成するものです。熊本県への震災復興支援の一環として、日本英語検定協会により3年間無料で実施され、市内全ての中学生が受験していたので外部検定の受験希望者が少なかったと考えています。

人事案件は次のように決まりました (敬称略)

教育委員

辻本 幸之助 (大矢野町) ※新任

同意

固定資産評価審査委員

静谷 正幸 (大矢野町) ※再任
 小山 勝徳 (松島町) ※再任
 杉田 良一 (龍ヶ岳町) ※再任

同意

人権擁護委員

溝口 慎二 (姫戸町) ※再任

答申



賛否表

主な議案などの賛否について、下記のとおり公表します。
(議案名は一部省略しています)

議案番号	議案名	結果	表決数	木下文宣	何川誠	嶋元秀司	何川雅彦	宮下昌子	西本輝幸	高橋健	小西涼司	新宅靖司	田中万里	北垣潮	島田光久	津留和子	桑原千知	田中辰夫	園田一博	
議案第43号	上天草市下水道条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	13・1	○	○	○	○	●	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	市立教良木小学校の雨漏り箇所の修理について	採択	14・0	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和元年度(平成31年度)上天草市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	14・0	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第7号	上天草市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	14・0	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第8号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出	原案可決	14・0	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 /欠席 -議長は除く

請願・陳情

件名	提出者	結果
市立教良木小学校の雨漏り箇所の修理についての請願書	教良木河内活性化協議会 会長 山下 秀幸	採択
龍ヶ岳町夏・唐網代地区及び池の浦地区の市道・護岸の整備に関する陳情	夏・唐網代区長 山川 国興 ほか21名	継続審査

全国市議会議長会表彰

6月11日、東京都で開催された全国市議会議長会において、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績等により、本市議会議員2名が表彰され、6月26日、本会議場で伝達式が行われました。

- 園田 一博 議長 議員15年
- 西本 輝幸 副議長 議員15年



▲左から西本副議長、園田議長

常任委員会

本会議で委員会に付託された議案等について、常任委員会で審査しました。その経過と結果について報告します。

総務常任委員会
6月19日



▶前島観光拠点施設の工事進捗状況を確認

総務常任委員会では、10月にオープン予定の前島観光拠点施設の工事進捗状況、また、現在は改修工事を実施している市立斎場の現地確認をしました。

◀市立斎場で担当課の説明を聞く



経済建設常任委員会

6月17日

下水道条例の一部を改正する
条例の制定について

可決

問 下水道未加入者対策についてどう考えているのか。

答 未加入者に対し、トイレ整備に係る助成制度などを紹介しながら、加入に向けて努力していきたいと考えています。

問 阿村地区において、合併浄化槽設置補助を受けた世帯の下水道加入状況は。

答 現在、補助を受けられた方で未加入の世帯が5件あります。今後、加入に向けて取り組んでいきたいと思えます。



▲夏・唐網代地区、池の浦地区の市道・護岸の状況を確認

あらたに生じた土地の確認について

可決

問 江樋戸の埋め立て地ということとか。また、使用用途は。

答 江樋戸港の物揚場であり、面積が2629・71㎡となる。用途については、利用計画が定めてあり、駐車場、野積場、取り付け護岸、物揚場となります。

問 駐車場の利用対象は。
答 定期船利用者を想定しています。

文教厚生常任委員会

6月18日



▲教良木小の状況を確認

財産の取得について

可決

問 これまでに購入した電子黒板は現在どうなっているのか。

答 用途を満たさないものは、廃棄処分を行い、使えるものは引き続き、使用しています。

問 電子黒板の耐用年数は何年か、また、何年程度の使用を想定しているか。

答 一般的にコンピュータ等の耐用年数は5年程度であり、同程度と考えており、大事に取り扱うことで10年程度は使用したいと考えています。

採択

市立教良木小学校の雨漏り 箇所修理の請願について

問 請願に至るまでに執行部として、修繕の対応ができなかったのか。

答 以前から雨漏りの状況は把握しており、適宜、修繕を行ってきたが、雨漏りが治まらないことから、場所や原因を特定するため、ブルーシートで覆い、箇所の把握や修理方法を検討することとしていました。

問 修理を実施するにあたっては、学校統廃合を踏まえ、総合的な考えをもって取り組むべきであり、地域の方々や関係者に説明を行いながら取り組んでほしい。

答 施設の修繕等については、校長や学校運営委員会と話し合いながら雨漏り対策等を検討し、請願提出者に対しては、今後の対応方法も含め、速やかに説明を行っていきま

予算決算常任委員会

6月14日・22日

可決

令和元年度（平成31年度） 一般会計補正予算（第1号） について

問 コミュニティ助成事業について、住民への周知方法および申請から決定に至るまで、どのような流れで進められるのか。

答 区長に対する文書の発送や、ホームページ、広報紙で周知していきます。各団体から申請書を受け付け、施設等の現状確認を行い、必要性や緊急性などの基準を点数化して、優先順位をつけて県に送付しています。

問 阿村出張所の老朽化に伴う移転であるが、具体的にどのような改修事を計画しているのか。

答 現在の間取りを活用し、それぞれ事務室、大会議室、小会議室に改修すると共に、入り口部分のバリ

アフリー化、また自動ドア設置を考えています。

問 開発プロジェクト推進課職員の人件費について、今年度に設置された部署で、現在、前島地区総合開発事業を実施しているが、今後どのような事業を計画しているのか。

答 宮津地区総合開発事業の素案を策定する予定です。

問 上天草市物産館さんばーの厨房用空調機の設置費が、計上されている。現在のさんばーの決算状況は。

答 平成30年度の売上は、7億3541万円、平成29年度の売上は7億893万円となっています。

問 スパ・タラソ水草の温泉主浴槽のろ過装置更新費用について、ろ過器は全部で何基あるのか。改修が必要であれば計画的に実施すべきだと考えるが、なぜ補正となったのか。

答 ろ過器は9基あり、平成30年度内での執行および新年度予算への反映ができず、また耐用年数を経過していたことから、補正として要求させていただいたところです。

一般質問

6月定例会では10人の議員が一般質問を行いました。

日程	議員氏名	質問事項
6 / 20	島田 光久	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護保険、地域支援事業の全体像について ▶ 災害集団移転地の払い下げについて
	北垣 潮	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 海洋プラスチックごみ対策について ▶ 高齢者ドライバーの安心、安全対策について ▶ 芦北、龍ヶ岳間の海底送水管について ▶ 上天草総合病院について ▶ 天草・島原の乱について
	高橋 健	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 合津川改修及び都市開発について ▶ 熊本天草幹線道路（大矢野道路）について
	田中 辰夫	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 八代・天草（八天）架橋建設について ▶ 防災無線の活用について
6 / 21	宮下 昌子	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会体育へ移行された小学校の部活動について ▶ 国民健康保険について ▶ ごみ問題について
	嶋元 秀司	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 橋梁の車両重量制限について ▶ 漁業無線等の新スプリアス規格対応について ▶ 車泊、RVパーク等について
	小西 涼司	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 梅雨時期の排水ポンプ設置について ▶ 南阿蘇村との連携協力について
	桑原 千知	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内公共交通機関の充実について ▶ 自転車を活用したまちづくりについて
6 / 24	何川 雅彦	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自転車活用推進計画の策定について ▶ 東京オリンピック聖火リレーについて
	田中 万里	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域おこし協力隊の更なる活用について ▶ 通学路交通安全プログラム事業について ▶ オリンピックの聖火コースについて



島田 光久 議員



認知症予防対策はどう進めるのか



早期診断、早期対応の取り組みを図る

島田 日本人の寿命が伸び続け、政府も人生百年時代に向けて、地域包括ケアシステムの構築、強化を推し進めている。当市の包括支援センターの運営評価指標はどのような状況か。

健康福祉部長

介護予防ケアマネジメント、介護予防支援については全国平均を上回り、組織運営体制、包括的継続的ケアマネジメント支援、地域ケア会議、事業間連携については全国平均を下回っています。総合相談支援、権利擁護については全国平均と同程度となっています。

島田 国は認知症対策を強化するため、予防を重要な柱とした、新たな大綱の素案を示し、基本法の整備を進めている。認知症予防施策については積極的な対応を進めてほしいが、どう考えているのか。

健康福祉部長

本市には、認知症に関する専門医療機関がなく、専門医、サポート医も不在となっている状況です。かかりつけ医を中心として、認知症の疾患医療センター等

の専門医と連携して、認知症の早期診断、早期対応に向けた取り組みを図りたいと思います。

市長

ドクターの確保というのは、非常に難しい問題で、すぐ実現できるかどうかは、はつきり申し上げられないが、対策を打たないわけにはいきません。周りが認知症という病気の理解を含めて、対応していく取り組みを市内全域に広げたいと考えます。

島田

だれでも高齢になり、年を重ねるごとに、認知症は少しずつ進んでいきますが、元気な高齢者も増えています。認知症予防施策、活動施策として、また、市民の健康意識を高めるための予防策として、ポイント制度の導入を提案したい。



北垣 潮 議員



漂着プラスチックごみにどのような対策を



平成30年度は廃プラ約9.4トンを回収しました

北垣 漂着したプラごみにはどのような対策を実施しているか。

市民生活部長

近年国際的に問題視されている海洋へのプラごみの流出については、生態系、景観及び漁業活動へ多大な影響を与えていることから重大な問題であると考えております。本市にあつては、海岸等に漂着したプラごみや、流水等の海岸漂着物については、県の海岸漂着物地域対策推進補助金を活用し、平成30年度は全体で118.5ト、うち廃プラ約9.4トンを回収し処分を行い海への再流出を防いでいるところでございます。

北垣

観光の面でも、海岸に漂着したプラごみ対策に力を入れるべきだと思いが。

市長

宿泊施設の事業者さんが近くの海岸をボランティア清掃するという事で、私も見に行つたのですが、本当にさまざま量のプラごみでした。我々も国立公園を有したそういう観光立地として、いろんな方と協力して海岸の清掃に取り組んでいきたいと考えて

います。

北垣

昨日、上桶川海岸に行つたが、熊本からキス釣りに来られていて、「このごみがなかつたら天草で一番きれか」と言っておられました。

北垣

本市での高齢者ドライバーの免許返納状況は。

総務企画部長

平成28年が87人、平成29年が114人、平成30年が119人です。

北垣

高齢者ドライバーの事故原因のほとんどがアクセルとブレーキの踏み間違いである。玉名市のナルセ機材というところが作っているワンペダルの試乗会を交通安全週間に出来ないか。

総務企画部長

玉名市の会社では、現在デモとして貸し出し等もあるかと思ひます。検討させていただきたいと思ひます。



▲ワンペダル



大矢野道路は、今、上天草市に必要なのか？



高橋 健 議員



高橋 熊本幹線道路大矢野道路の建設において、県の説明会が行われており、その説明を聞き何点か疑問に思う事がある。

①大矢野道路より2号橋から5号橋までが先ではないか？

県の説明の中では、熊本天草幹線道路をつくつて、90分で天草から熊本をつなごうという目的が多大に見られる。

90分でつなげれば、いろんなメリットがありますという説明がある。それを聞いて、では今度作成されるのが、どこからどこまでかという、天城橋と東満までのルート、それが、キャモン付近までの3・4kmが延長される。

県が90分構想をどうしても進めたいのであれば、順番的に2号橋から5号橋までの幹線道路を先に整備するべきであると考えている。

②現行道路付近の衰退 有明から松島まで出来てみたときに、今その間の旧道の付近はどうなっているのか。天門橋から東満までの道はどうなったか。コンビニエンス

ストア等軒並み閉店。大矢野道路が開通すれば、大矢野のメイン道路の衰退が懸念される。利便性は高まるが、果たしてこの事業が大矢野町の為になるのか。



▲昨年5月に開通した天城橋

③県は物流の利便性を強調するが、県が行っているフードバレー構想の中に現時点では天草は含まれていない矛盾。

④三角町までの事業は、国土交通省で進められている。上天草市の事だけ考えれば、三角まで事業が進めば熊本市まで30分で行くことが可能になるため、大矢野町にいても熊本市までの通勤圏内に充分成りえるため、ベッドタウン化や人口減少の一役を担う可能性はおおいにあると考える。

⑤八代・天草架橋に対する市長の考えについて



八代・天草架橋に対する市長の考えについて



田中 辰夫 議員



【八代・天草架橋建設について】

田中 各期成会でも今、機運が盛り上がっている中、行政期成会の調査研究の内容は。

市長 産業面では、市場拡大によりまして年間783億円、観光面では年間540億円が見込まれ、産業・観光・防災・生活面などで、さまざまな経済効果があるという研究結果です。

田中 架橋建設の署名活動は、**市長** 精力的に署名活動も取り組んで頂いておりますので、我々も協力してまいりたいと思っております。

田中 防災岸壁を通して、八代とのつながりを密にしておく必要があると思うが、市長の考えを伺う。

市長 八代と天草架橋を早く実現するためには、日頃から交流を高めていくことが重要だと思えます。そういう意味では、観光航路としての機能を高めて、相互の交流がもつと進むよう努力して参りたいと思えます。

田中 組織の一本化について市長の考えを伺う。

市長 県知事が主催者の総決起大会とか、地方大会を開ける形が次のステップだと思います。

【防災無線の活用について】

田中 災害に対するの注意喚起および児童生徒に対するイノシシ被害に防災無線の活用ができないのか。

総務企画部長 災害に対しての予防啓発のための注意喚起では活用している。イノシシに対しては、今後も引き続き関係機関との連携を密にし、必要に応じて、防災行政無線による放送を行ってまいりたいと思っております。

田中 災害や事故で、自分の子どもやかけがえのない地域の子どもたちを守るために、教育委員会やPTA、学校、地域の皆様と共に、危険な場所がないか、再度確認していただきたいと思います。また、不審者などの情報提供もよろしく願います。



▲高舞登山からの眺望



宮下 昌子 議員



国保税均等割の18歳未満の免除をしてほしい



保険者の県とも協議が必要、内部で研究したい

宮下 国民健康保険の現状は？

健康福祉部長 加入世帯数は4

587世帯、7637人。軽減世帯は7割軽減が1770、5割が816、2割が599で合計3185世帯です。滞納世帯は517世帯です。

宮下 短期保険証および資格証明書が発行数は？

健康福祉部長 短期が28世帯、資格が128世帯です。

宮下 加入世帯の約7割が軽減世帯である。つまり、低所得者が多いということだ。資格証明書の発行数も県内でダントツに高い。上天草市の保険税は天草2市1町で一番高く、世帯あたりでは、天草市より2万4212円高い。対して基金は他よりかなり多い約3億3千万円積み立てられている。

国保には他の保険制度に無い均等割、平等割がある。均等割は、家族が多いほど引き上がる。0歳児から頭数(あたまかす)に入り、子どもの数が多いほど負担が増えるということだ。子育て支援に逆行しているのではないか。18歳未満の子どもの数は？

健康福祉部長 657人です。

宮下 仮に18歳未満を免除する

としたら、2562万3千円になる。基金およびふるさと納税を活用すれば、免除もしくは減免は実施可能だと考える。

市長 基金を取り崩して負担に

充てるというのは、少し短絡的過ぎるのではないかと気がします。県が保険者となっていて、近い将来は税率を統一することを目標としています。導入した場合、将来どういう形になっていくのか県とも協議が必要だと考えます。お話を頂きましたので、内部で研究してみたいと思います。

宮下 国保制度は、1958年

に『社会保障及び国民保険の向上に寄与することを目的とする』と法律が改正されている。子育て世帯の経済的支援策として実施していただきたい。



嶋元 秀司 議員



大維架橋の車重制限はどのようになっているか



14トンの重量制限を設けている

嶋元 大維架橋において近年

事業者による大型車両の通行がよく見受けられるが、車重制限との兼ね合いはどうなっているのか、という問い合わせを聞くが、どのように把握しているか。また、今後の対応について、どう考えているのか。

経済振興部長 維和地区で事

業を行っている方が、大型車両を利用して運搬しているが、重量制限があるのでは、との連絡を受けて地元区長への聞き取りを行うとともに、当該車両の確認を行いました。その後、運搬を行っていた事業者と連絡を取り、事業内容を聞き取りまして、橋梁の車重制限について説明をし、改善するよう口頭で指導を行ったところ。また、今後の対応については、制限重量の表示が見えにくいこともあり、容易に確認できるように規制内容を記した新たな看板の設置を準備しているところです。

「新スプリアス規格対応について」

嶋元 無線やレーダーなど、

今回の新スプリアス規格対応のため買い替えの必要が出てくる事が考えられるが、若手漁業者等、大きな負担になる事も考えられる。一部補助も含め、調査して頂けないか。

経済振興部長 旧規格の無線等の使用期限は、令和4年11月30日までとなっており、新規格への移行に伴う費用負担がそれなりに発生するものと思われ。そのため、電波を利用した機器の利用率等については、全漁船への聞き取り調査をする必要があると思えます。また、新スプリアス規格への対応に係る一部補助につきましても、県や県内沿岸市町の動向も踏まえつつ、今後、前向きに検討を行い協議したいと思えます。



Q 南阿蘇村との連携事業の内容は



小西 涼司 議員

A 観光面でのコラボや教育分野での人的交流を考えている

小西 南阿蘇村とは、海と山との自治体同士であり、今後いろんな可能性、広がりを見せていくと思うが、今後のスケジュールと連携事業の内容はどうなっているのか。

総務企画部長 熊本県を立会人とした包括連携協定式を県庁で7月をめどに開催できるように、現在調整中です。本市と南阿蘇村が持っている地域固有の資源やポテンシャルなど、双方の強みの部分を相互に生かしながら、さまざまなイベントでの連携や協力を行うことで、双方のさらなる地域活性化に繋げていきたいと考えています。

小西 協定を結んだ自治体同士の取り組みが高いのが、教育・子ども関係。次が観光・防災である。子どもたちのホームステイ交流や学校同士の相互交流も視野に入れていきたい。

市長 先日、南阿蘇村の村長さんと意見交換をした中で、今、熊本地震の復興に大変御尽力されていると思います。もともと南阿蘇村は、移住者



▲南阿蘇村の景観

も多く、自治体の中では非常に高いポテンシャルがあり、全国的な評価も高く、我々も学ぶところがたくさんあると思っています。天草と阿蘇となれば、熊本県を代表する2大観光地であり全国的なイベントも相互でコラボしていけば、注目も高まり、都市部でのアンテナショップもうまくいくと思います。

それと含めて、御提案があったように、教育分野においても人的交流を深めていければと思っています。

小西 海と山で対象的な自治体同士で無限な可能性があると思っているので、ぜひとも積極的に進めていってほしいと思う。

Q 自転車道を整備するため、計画策定と国への要望を



桑原 千知 議員

A 自転車を使った地域振興を目指し、号令をかけます

【地域公共交通機関の充実について】

桑原 市地域交通網形成計画により、市は路線バスや乗合タクシーの充実を図っているが、利用者が少なく、市民への周知が不足していると感じる。

総務企画部長 市民への周知については、自治公民館等への時刻表の掲示や区長さんへの働きかけを通じ、積極的にやっていきたいと思っています。

桑原 高齢者の免許返納を考えると、市民の外出手段、いわゆる「生活の足」を確保することは、重要な課題である。

市長 高齢者の事故防止のため、免許の自主返納に対しては推進を図っていく必要があると思いますし、代替交通の拡充についても考えていきたいと思っています。

【自転車を活用したまちづくりについて】

桑原 沿道を走るサイクリング愛好家をよく見かける。自転車を活用した取り組みは、本市の重要な施策である国際交流の促進、観光地としての

魅力の増進、それに付随する道路整備等、多くの効果があると考えるが。

副市長 国内には自転車のさまざまな有名コースがありますが、本市もなり得る可能性が高いと思います。

桑原 本市の東海岸を整備すれば、八代海の絶景を眺めながら走ることができると。そのため、姫戸桜公園から諏訪公園までの海岸道、また、樋島を周回できる道路を整備することが必要である。金子代議士と話した際、本市の景観を絶賛しておられた。計画を策定して、国と交渉してはどうか。

市長 日本有数のコースを目標に、自転車を使った地域振興に取り組んでいくべく号令をかけていきます。





人と自転車に優しい市道の整備を



可能な限り整備を進めてまいります

何川 雅彦 議員

〔自転車活用推進計画の策定について〕

何川 現在の道路は、自転車や歩行者には優しくない。市道の往來では真ん中をクルマが走り、歩行者・自転車は、消えかかった白線と雑草の間を、クルマに気を使いながら通行しなければならぬ。安全な自転車通行帯の整備が必要ではないか。

建設部長

取り組みを進めることとしており、新たな改良等にあつては、歩行者のための通行帯となる余裕のある路肩幅の確保、および自転車の通行帯を示すための矢羽根型路面表示の設置も考えています。また、舗装の維持管理においても、可能な限り人と自転車で安全な市道となるよう整備を進めていきます。

何川 本市の実情を盛り込んだ上天草市自転車活用推進計画の策定を。

建設部長 現在、天草地域自転車ネットワーク計画づくり



▲自転車通行帯 (イメージ)



▲自転車活用推進法の理念

に、県および天草市などと取り組んでいるところであり、この計画と連携した形で、市独自の自転車活用推進計画を策定し、市道の整備など上天草市管内の自転車利用環境の整備に取り組んでいくこととしています。

〔東京オリンピック聖火リレーについて〕

何川 来年5月6〜7日に東京五輪聖火リレーが熊本県で開催される。本市の関与はどの程度であったのか。

教育部長 各市町村への事前の意見聴取等は実施されておりません。

何川 上天草市での開催に向けての働きかけは。

教育部長 熊本県の実行委員会を選定されたことから、市としての働きかけを行うことはできなかったところです。



通学路交通安全プログラム事業のその後の進捗状況は



昨年度は、緊急性のある10カ所の安全対策を実施し今年度は23カ所を実施

田中 万里 議員

田中

通学路においては、全国で事件・事故が多発し、通学路の安全確保に向けた取り組みとしてプログラムの策定が求められ、当市においても前年度にこのプログラムが策定された。前年度、各種関係団体にアンケートを実施し、危険箇所を把握している

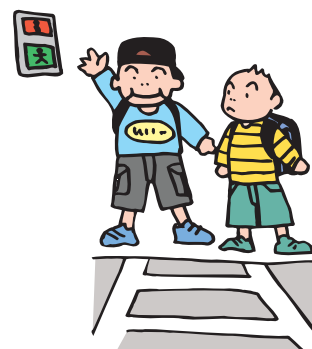
と思うが、その後の進捗状況は。

教育部長

現在、把握している施設補修等の対策が必要な箇所は77カ所で、昨年度は、緊急性のある10カ所の安全対策を実施し、また今年度は23カ所の実施に取り組んでおります。今後も計画的実施してまいります。

田中

上天草市全域において、77カ所は非常に少ないと感じた。次にアンケートを行う際は、保護者ならびに児童生徒まで調査をし、反映してもらいたい。同時に、アンケートを取って、危険箇所が上がってきたところは補正予算を組んででも早目に対応していただきたい。また、市役所の前の歩道から登立旧道方面に行く歩道は登立地区の中学生の



8割が通るが、街灯もなく、冬場は夜になれば真っ暗である。例えば、カラー舗装等である通学路とわかるような表示をするなど、モデル通学路というのを作つたらどうかと思う。検証をして、今後の安全安心な通学路を築くためにも、そういう取り組みも必要ではないか。

教育部長

今年度は各種関係団体や保護者、児童生徒を対象とした意見聴取にも取り組むこととしていただいております。

市長

危険箇所の調査の充実と徹底については、教育委員会とともに、関係部局も連携をして、効果的な対策になるように進めていき、国・県等に対し積極的に要望活動に取り組んでまいりたいと思います。

議会運営の効率化を目指し —電子会議システムを導入—

本市議会では、4月からタブレット端末を使用した電子会議システムおよびSNSアプリを導入しました。

今回のシステム等の導入は、平成29年度から議会運営委員会を中心に議論を重ね、試行期間や研修等を経て、全議員の意志により決定。5月臨時会から本格的な運用を始めました。

システム等の導入により、次のような効果が見込まれます。

- 情報のやり取りが早くなることで、災害発生時の状況確認や対応が迅速になります。
- 膨大な議会関連資料のペーパーレス化により、環境に配慮した議会運営が可能となります。
- 資料の共有や配信、持ち歩くことで、議員活動の活性化が図られます。
- 資料の作成、配布、差し替えなどが省力化することにより、職員の業務効率化および連絡もれを防ぐことができます。
- 議員間の連絡、情報交換、情報共有の活発化が図られます。



▲全議員がタブレットを使い、議案等を審議



▲メモや付箋機能も使いながら、念入りに議案をチェックします

議会のあれこれ、 解説します

○質疑

「議案質疑」などがあります。

議題になつている案件について、賛否または修正等の態度決定をするために、不明確な点について、提出者などの説明や意見を質すためのものです。このため、質疑においては、自己の意見を述べることはできないことになっていきます。

なお、本市議会では、申し合わせにより、「質疑は、同一の議題につき3回を超えることができない」となっています。

○質問

「一般質問」などがあります。

議員個人が、現に議題となつている案件とは無関係に、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市当局などに求めるものです。一人の持ち時間は、答弁を含め6分となっており、制限時間内に、市が市民のための適切な市政運営を行っているかを議員がチェックします。

なお、本市議会では、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に対し、質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用しています。

議会広報編集委員会が新メンバーでスタート！



▲前列左から、津留委員長、何川誠副委員長
後列左から、桑原委員、新宅委員、島田委員、北垣委員

今号から新たなメンバーで紙面作成に取り組みました。

議会だより「えがお」が、議会と市民の皆さんの架け橋となるよう、委員一丸となって頑張ります！

取材におじゃました際は、皆さんの「笑顔」をよろしくお願いします。

議会の主な動き

4月

- 24日 上天草市民生委員児童委員連合会総会
- 25日 熊本県市長会春季定例会
- 30日 天皇陛下御即位三十周年熊本県奉祝式典

5月

- 12日 上天草高校体育大会
- 19日 上天草市文化協会通常総会
- 20日 天草ジオパーク推進協議会
- 22日 第269回熊本県市議会議長会
- 24日 上天草市商工会第8回通常総代会
- 25日 上天草市地域婦人会連絡協議会通常総会

- 26日 天草市本庁舎落成式（天草市）

6月

- 10日 熊本県市議会議長会（東京都）
- 11日 全国市議会議長会（東京都）
- 12日 全国市議会議員共済会（東京都）
- 18日 天草四郎観光協会通常総会

7月

- 7日 上天草市人権講演会・青少年育成市民大会並びに社会を明るくする運動推進大会

議会だより「えがお」へのご意見・ご感想を募集します

広報委員会では、議会だより「えがお」に対する皆さまのご意見・ご感想を募集します。

皆さまのご意見等を参考に、市議会をより身近に感じていただけるよう、紙面のさらなる充実をめざしますので、よろしくお願いします。

■応募方法 ハガキ、封書、メール、ファックスによりお送りください。

■記入事項 ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④ご意見・ご感想

■宛先 〒869-3692 上天草市大矢野町上1514
上天草市議会事務局

FAX：0964-56-4936 E-mail：gikai@city.kamiamakusa.lg.jp

■お問い合わせ先 上天草市議会事務局 TEL：0964-26-5536



笑顔が やうり

姫戸町

楽しみながら認知症予防

姫戸老人福祉センターで6月30日に開催された「認知症予防レクリエーション研修会」のようすです。

上天草市社会福祉協議会の主催で、定期的に開かれており、参加者の皆さんは楽しく活動しています。



まちを歩いて...

大矢野町

ながすぎよみんできししゃのつか 長洲漁民溺死者之塚

明治26年、玉名郡長洲町の漁民が、有明海で出漁中、突風にあい、多くの方が亡くなりました。

そのご遺体が流れついた大矢野町上申、登立白涛地区の住民が建立した供養塔があります。

地元地区では、塚に線香や草花を絶やさず供養されており、毎年10月には、長洲町の方々が犠牲者の霊を慰めるために供養に訪れておられます。



明治廿六年十二月廿九日
石工 天草郡安立郡 井手権五郎
玉名郡長洲町漁民ノ溺死者無慮ノ三百餘人ノ多ニ達セリ
慘何ゾ當テニ忍シ其本村沿岸ニ漂着スル者實ニ四十七人
其間ニ及メテ天草郡上申村史員及有志者諸氏共ニ合議
築石其塚域ヲ圍シ貞石ヲ建立テ表シ永ク追慕ラシム
安地セントラテ建スト云

石村世話人 鶴田代四郎

次の定例会は

8月28日開会です。

ぜひ傍聴にお越しください

詳しくは議会事務局へ 0964-26-5536

編集後記

「令和」がスタートして4カ月目を迎えますが、皆さん、新しい元号には慣れましたか。

このところ、私が一番気になることと言えば、天候が不安定なこと。今年は梅雨入りが遅く、梅雨明けも昨年より15日も遅くなりました。さらには、予期せぬ大雨や季節はずれの台風により、災害が多くなっています。

このような異常気象が発生しやすい中で、行政から発令される情報に注意を払い、私たち一人ひとりが気をつけて、まずは自分の「命」を守る行動を取るように心がけることが大切だと思います。

さて、今年度より広報委員会のメンバーが新しい顔ぶれになりました。今号の14ページに写真を掲載しています。また、前号より、この「えがお」がフルカラーとなり、楽しく読んでいただけるのではないかと思います。

新メンバーで力を合わせ、皆さんにより親しまれる議会だよりをお届けしたいと思っています。

ご愛読くださいませ。(津留 和子)

上天草市議会 広報編集委員会

委員長	津留 和子
副委員長	何川 誠
委員	新宅 靖司
	北垣 潮
	島田 光久
	桑原 千知